慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

| | |
|---|---|
| Title | フイリップ・スノーデンの自叙伝 An Autobiography by Viscount Snowden. 1934. |
| Sub Title | |
| Author | 高木, 寿一 |
| Publisher | 慶應義塾理財学会 |
| Publication year | 1935 |
| Jtitle | 三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.29, No.3 (1935. 3) ,p.445(127)- 450(132) |
| JaLC DOI | 10.14991/001.19350301-0127 |
| Abstract | |
| Notes | |
| Genre | Journal Article |
| URL | https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19350301-0127 |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 「フィリップ・スノーデンの自叙傳」

An Autobiography by Viscount Snowden. 1934.

高木壽一

スノーデンの自敍傳は上下二卷、千八十五頁の大著である。著者は上卷序論に於て、此回想錄を著はすについての主要目的は、英國史に於て最も偉大なる最も急激なる政治的變化を觀たる此時代の研究者に若干貢献する所あることを期すると云ふ。彼は四十年の間、勞働黨の最も微力なる時代より一大政黨の地位に達し、數百萬の投票を獲得し、再度まで政府を組織した勞働黨の運動に最も密接なる關係にあつた。英國の社會主義運動が極めて少數者に限られて居つた時代の活動より、獨立勞働黨に參加し、勞働黨の結成に參劃し、勞働黨議員として約二十五年に亘つて議會に議席を有し、兩度の勞働黨内閣に閣員となつた。之等はいづれも著者が英國勞働黨の發展、其長所と短所とを知ること最も多く之を語る資格あるものであらうと云ふ。

著者自らの言を俟つまでもなく、フィリップ・スノーデンが英國勞働黨の領袖として、又勞働黨の持つた最も偉大なる財政家として、英國の政治に多大の貢献があつたことは世人の認める所である。殊に私個人として興味を持つのは財政家としてのスノーデンである。

其自敍傳は先づ第一章に於て、ヨークシア人として、一八六四年七月十八日の誕生から、其故郷と生家を語つて居る。そして、其若き日を回想して居る中に、讀者をして微笑を禁じ得ない次の句がある。

「私は若い時分には特に芝居に興味があつた、俳優にならうと云ふ野心があつたからである。そして或時は家を逃れて舞臺に走ることを眞劍に考へたことがあつた。唯、其職業に入るにはどうするかを知らなかつたばかりに、自己の希望を遂げずに救はれたのである」

一八八〇年代に於てはスノーデンは社會主義には殆ど興味を持つて居らなかつた。スノーデンが稅務官吏として勤務して居たアバァディンに社會主義者の小團體があつて、或時の演說者がロシアの亡命者クロポトキン公爵と知つても何の感想もなかつたこと、又ヘンリー・ジョージのことについても語つて居る。一八八九年父を失つて後、二年にして病を得て職を退いた。然るに當時、獨立勞働黨の成立があり、其宣傳によつて卷き起された政治的興奮には、政治に關心ある者ならばすべて其影響を受けないと云ふことはなかつた。僻村に退いては居たが新聞の報道によつて知識を得て居たところ、村の自由黨は、獨立勞働黨の攻擊の盛んなるに對して、スノーデンも新運動に反對するものと考へて地方自由黨クラブに招待し社會主義についての意見を求めた。そこで其問題について何かの知識を要するので、始めて社會主義の書物を讀むことになつた。時間はいくらでもあつたが書物を買ふ金が殆どなかつた。最初に手に入れた書物は、カーカップの社會主義研究 Kirkup: Inquiry into Socialism であつた。其讀書によつてスノーデンは社會主義の研究心が熾んになり、藏書二百冊を賣り拂ひ社會主義の書物を買つたと云ふ。若干の準備の後に講演して多數の青年の同志を得た。一八九五年の總選擧には獨立勞働黨の候補者とされるまでになつた。斯くして全く社會主義に興味のなかつたスノーデンが此機會に社會主義運動へと導かれ、其の運命を左右する一大轉機となつた。茲に勞働黨の闘士としての生涯が始まつたのである。

自敍傳の上卷は三十五章より成り、世界大戰の平和條約を以て終つて居る。私の特に興味を感ずるのは財政家としてのスノーデンである。上卷に於ても第九章、社會主義的豫算。第二十五章、戰時財政を含むで居るが、勞働黨の勢力增大、更に政權獲得は戰後のことであるから、下卷に於けるスノーデンの財政當事者としての記錄に興味を牽かれる。

第一次勞働黨內閣に於ける藏相としての活動よりも更に一層重大なるは、第二次勞働黨內閣に於けるスノーデンの財政政策である。第二次勞働黨內閣の藏相として、ヘーグ會議に於て賠償問題について頑强に其主張を保持して活躍したが、自敍傳下卷第六十四章に其會議の經過及び登場人物について詳しく物語つて居る。世界經濟恐慌が英國を襲ひ、其財政的危機を齎らし、更に金本位離脫に導いた時期は、近代英國財政史に於て最も重大なる危機を表はすものであつた。一九三一年の勞働黨內閣の崩壞も、所謂擧國一致內閣の成立も、財政問題が中心となつて居る。勞働黨の "Big Five" として又勞働黨の財政家として、此危機に於て財政處理の大任に當つて居たスノーデンは全く黨派心を脫却して其危機の重大性を直視して居た。そして屢、其年來の同志たるヘンダーソン其他の勞働黨員が事態の急を認識せず、勞働組合に制肘せられ、又次の總選擧に於て勞働組合或は失業者の甘心を買つて投票を得むとする念に驅られて、國家の危機を救ふべき緊急の財政對策を拒否したることを遺憾として居る。勞働黨が國家的見地に立つて行動することなき一黨派に墮してしまつたことを嘆いて居る。

英國財政に對する經濟恐慌の影響は既に一九三〇年に於て現はれて居り、極て重大なる財政事情を現出した。其は單に英國のみに止まらず多くの國家財政に於て觀る所である。しかし英國は現代資本主義國家の最も代表的なる

ものであり、且つ其財政當事者が此スノーデンであつた。其故に其自敍傳第七十二章以下に話る所は特に貴重なる記錄である。殊に一九三一年七月に到來したる危機の經過及び對策、其に對する勞働黨及び其反對黨政治家の態度等について第七十六章以下に詳細なる說明がある。

メイ委員會に參加せる二名の勞働黨員は其報告書の多數意見に署名せず、別に少數意見を報告して居る。スノーデンは其少數意見を以て、國家財政事情の重大性を少しも認めず、唯、通常の社會主義的宣傳の慣例を追ふて居るにすぎないものと斷じて居る。又勞働組合が勞働黨政府の經費節約政策に反對して、何等の節約を要せず、すべて必要なる收入は直接稅の增稅、減債基金の停止によつて得られると云ふ意見を表はしたことを、恐慌前の考へ方であり、好況のときならば採用し得た提案であつて、勞働組合側が其恐慌に際して何等の貢獻をなす用意なきことを知つたと云つて居る。

勞働黨內閣が一度承認したる五千六百萬磅の節約に加ふるに、更に二千萬磅の經費節約を企て、英國財政の基礎を鞏固ならしめる確信を示して、聯邦準備銀行、フランス銀行より更に資金の援助を仰ぐことを計畫し其成算があつた。然るに、此二千萬磅の經費節約は失業手當の一割減額を含み、閣內の意見の一致を得ることが出來なかつた。其ために勞働黨內閣は瓦壞し、マクドナルドを首相としボルドウィン。サミュエルの援助を得て、舉國內閣が組織されたが之はスノーデンの全く豫期しなかつた所であつた。スノーデンはマグドナルドの請を容れて、藏相の任に止まつた。藏相として地位に鑑み、國家を此難局より救ふことに貢獻せむとする重大責任に照して新政府を援助するよりほかに採るべき途はないと考へたからであると云つて居る。新內閣は National Government であつて Coalition Government でないこと、此危機を善處するに要する時期よりも長く存續しないものと考へた。其當時、スノーデンはやがて勞働黨の約四十年來の同志と永久に袂を分つことになるとは毛頭も考へなかつたと云ふ。

スノーデンは新內閣の緊急豫算を編成し、一九三一年九月十日下院に提出した。其豫算は平時に於ける最も重大なる豫算であつた。スノーデンの豫算演說の終了後の光景は議會史上に前例を見ないものであつた。曾て議會に於て議員が立つて增稅に歡呼を送つたことがあつたらうか。此がスノーデンの提出した四度の豫算の最後のものであつた。續いて九月二十一日の金本位停止の法案を提出した。スノーデンは曰く「不均衡豫算と無統制インフレーションとを以て金本位を離脫することゝ、國內の財政難に因らず外國預金の過度の引上のために其手段を採ることゝは別である。吾人は吾が國家豫算を均衡させて居り、無統制インフレーションに導く紙幣印刷の危險を殘さない」。スノーデンも金本位論者であつて、他日改善された金本位に復歸すべきことを信じて居る。

總選擧のあつた後、スノーデンは同年十一月、子爵に敍せられて上院に入つた。曰く、貴族に列せられることは敢て好む所ではない。若し上院に入らずとも政府に止まることが出來るならば、其途を喜むで選ぶものであつた。しかし、既に下院議員でなくなつて居たので、上院に入るのほかに政府に止まる途はなかつたのである。假令、政府の一員でなかつたとしても、全く政治の圈外に落ちるのを欲しなかつた、蓋し四十年の政治的活動の後には其が私の生活の一部となつてしまつたからである。上院の議席は上院を政治舞臺として利用する機會を自分に與へるものであると考へたと云つて居る。

一九三二年八月のオッタワ經濟會議の結果として、自由貿易論者は內閣を去ることになり九月末に到つてスノーデンは自由黨のサミュエル。シンクレアと共に辭職しマクドナルドとも別れるに到つたのである。

最後の章に於て、スノーデンは自己の政治的生涯を回顧し、政界に志す青年に忠告を與へ、社會狀勢の變遷を回想し、社會主義に對する見解と勞働黨を論じて居る。今日の勞働黨は其組織當時のものとは異る。其は他の政黨の性質と殆ど異る所のないものになつて居る。又勞働黨が近い將來に於て再び大なる勢力を獲得するものとは信じない。不賢明なる指導と誤れる政治的判斷とは其進歩を妨げて居る。しかしスノーデンは、保守黨政府の繼續を想像するが、遠き將來については勞働黨の社會主義的綱領に從て社會改造の行はるべきことを信じて居るのである。

吾人は此自敍傳を以て近代的政治家の最も重要なる記錄の一であると思ふ。近代英國の社會主義運動、勞働黨發展の內外の狀勢を語り、幾多の危機を含む政治事情の變遷を敍述して居る。彼は勞働黨の五大領袖の一人であり、又勞働黨最大の財政家である。其記錄は財政史の資料としても貴重なる意義あるものと考へるのである。

# オーリン著「地域貿易と國際貿易」

—— Bertil Ohlin; Interregional and International Trade. Cambridge, Harvard University Press. 1933—xvii, 617 pp. ——

岩田仞

著者オーリンは既に幾多の勞作を發表して居るが、本書に於て國際貿易を全面的に取扱ひ、彼の貿易理論に對する態度を明瞭ならしめた。彼は特に二つの思想から著しい影響を受けて居る。一つは比較生產費說を修正發展せしめんとする Taussig, Viner 等のハーバード學派であり、他の一つは價値無用論を主張する Cassel を中心とするストックホルム學派である。彼の貿易理論に於て前者は消極的役割を、後者は積極的役割をそれ〴〵演じて居る。從つて本書の內容も亦その一部分は國際貿易に關する正統學派理論の修正、批判であり、一部分はそれと異れる新しき分野を開拓せんとする試み、即ち國際分業論と平衡價格論とに基礎を置いた貿易理論の體系づけである。

彼は比較生產費說に對しては全く否定的態度をとる。彼に依れば、古典派勞働價値說は次の如き二つの非現實的な假定を必要とする。(一)如何なる種類の勞働に於ても、勞働量と賃銀の比率は一定である。(二)如何なる財貨生產に於ても勞働と資本の割合は同一である。從つて勞働價値說は一市場內の價格形成の理論として適當ではない。